

### 平田建設 インターン

【帯広】平田建設（本社・士幌）は6月24・26日の3日間、士幌高生のインターンシップ受け入れに協力した。2年生の萩智也さんが現場見学などを通し、建設業の仕事への理解を深めた11写真。



などの説明を受けた。また、VRゴーグルを付けて仮想の建設現場を体験。業界の最先端技術を学んだ。

萩さんは「現場で測量機器やドローンを使用していた場面が印象に残った」と振り返った。

## 建設業への理解深め 平田建設 士幌高生受入



士幌高の萩さん（右）が建設業について学んだ

【帯広発】例年平田建設（士幌、長谷川雅毅社長）は6月24日から3日間、士幌高校のインターンシップに協力した。橋梁補修や道路改良、草地整備などの現場見学を実施。参加した生徒は測量実習やドローンによる工事写真の撮影などを通して、建設業への理解を深めた。

同社では毎年インターンシップに協力。今回は24日から3日間、士幌高2年生

音更橋補修外一連工事」の地整備中札内地区2区、同社施工で帯広開建発注の「一般国道241号」北海道横断自動車道陸別町川向北海道改良工事」「北海道横断自動車道陸別町取別北海道改良工事」の現場を見学。測量実習とドローンによる工事写真の撮影、タブレットで現況と3Dモデルを融合するアプリケーションを使用し、現場の完成イメージを見ながらどのように施工されるかについて説明を受けた。

3日目は、同社施工で十勝総合振興局発注の「草地整備中札内地区1区」と平田・北斗JV施工の「草

萩さんは、3日間で今まで漠然としていた建設業に興味が高まったことに触れ、「ドローンやタブレットを使って仕事をすることに驚いた。大変そうだがとてもやりがいのある仕事だと感じた」と感想を述べた。